

研究課題名	進行乳癌に対する高品質・個別化・効率化を追求した高精度放射線治療体制の構築に関わる研究
研究責任者名	広島大学大学院医系医科学研究科 放射線腫瘍学講座 特任講師 土井 歆子
研究期間	2022年7月(許可日)～2027年 3月
対象者	2015年10月から2025年3月の間に、広島大学病院放射線治療科および広島がん高精度放射線治療センターで乳癌術後照射を受けられた患者さん。
意義・目的	女性が罹患する癌の中で症例数の多い進行乳癌症例に対して個別化された最適な高精度放射線治療を短時間で提供するためには、治療計画から治療開始までに必要な作業をいかに簡略化できるかが最も重要です。我々の施設で行っている進行乳癌に対する高精度放射線治療技術および経験を活かして、進行乳癌症例に対する最適で安全な高精度放射線治療を効率よく提供できる体制作りに貢献したいと考えています。
方法	<p>本研究は、診療録（カルテ）情報や照射記録を用いて行います。</p> <p>カルテや照射記録から使用する内容は身長、体重、性別、診断時年齢、発症時期、発症のきっかけ、病変位置、腫瘍径、臨床病期、術前病理結果、術前化学療法の有無とその詳細、手術日、手術手技、術後病理結果、術後創部トラブルの有無、術後化学療法の有無とその詳細、照射開始日、照射部位、照射線量、照射方法、急性期有害事象の有無と発症時期、晩期有害事象の有無と発症時期、再発の有無とその詳細、生存の状態とその詳細です。</p> <p>上述の情報を用いる際には、氏名、住所など個人が特定できる情報を削除し、どなたの情報か分からないよう加工します。広島がん高精度放射線治療センターにおいても、同様にどなたの情報か分からないよう加工した情報を、USBによって広島大学に提供します。</p>
研究実施体制	<p>研究代表機関</p> <p>広島大学大学院医系医科学研究科 放射線腫瘍学講座 研究責任者：特任講師 土井 歆子</p> <p>共同研究機関</p> <p>広島がん高精度放射線治療センター 研究責任者：権丈 雅浩 機関の長：永田 靖</p> <p>広島大学に情報を集め広島大学（研究責任者 土井 歆子）が解析します。</p>
試料・情報の管理責任者	広島大学広島大学大学院医系医科学研究科 放射線腫瘍学講座 教授 永田 靖
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずるこ</p>

とはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-1545

広島大学広島大学大学院医系医科学研究科 放射線腫瘍学講座 特任講師 土井 歆子

研究機関：広島大学